

ふるさと 通信員だより

vol.212

このコーナーでは、ふるさと通信員が取材した身近な地域的话题を紹介しします。なお、町では通信員を募集しています（活動はボランティアでお願いしています）。広報活動に興味のある人は、役場広報広聴課広報係（内線216）にご連絡ください。



中央連合町内会（種川健会長）の研修会と各町内会担当の民生児童委員との意見交換会が、プロスパ6で開催されました。

1部の研修会では、社会福祉協議会の事業計画や地域福祉活動などが説明されました。

2部では、22町内会会長と民生委員との意見交換会が行われ、情報共有のため町内会の総会や行事に担当民生委員の参加が望ましい、また災害時の要援護者体制は、特に事細かく把握するため相互に連携して、日頃から地域情報を共用することの大切さなど活発な意見交換をしました。

地域の支援者としてお互いの連携が何より重要と再確認しました。



たかだ てつこ
高田 徹子 通信員

地域の連携が大切



ふれあい柳町教室「ほっと」（柳町仲区）でCAP研修会が行われました。CAP（Child Assault Prevention）とは子どもたちがあらゆる暴力から自分を守るための人権教育プログラムです。研修会は十勝CAPそらの駅代表の棟方さん他2名が劇を通して分かりやすく子どもたちを取り巻く環境で起こりうる内容を演じ、「どのように自分を守ることができるのか...」について学びます。今回の研修は3日間にわたり、職員、保護者、そして子どもたちそれぞれへの研修が行われました（写真はほっと職員研修の様子）。

全ての子どもたちに「安心・自信・自由」があることを伝える活動が広がることを願います。



いしだ ひさよ
石田 尚世 通信員

人権教育